

## 平成27年度第3回浦安市子ども・子育て会議議事録

1 開催日時 平成28年2月23日（水） 18：30～20：00

2 開催場所 健康センター1階 第1会議室

3 出席者

(委員) 大日向会長、柏女副会長、長岡委員、石井委員、扇谷委員、吉田委員、田村委員、小田委員、西塚委員、大塚委員、小川委員、横川委員、鈴木委員

(事務局) こども部	金子部長、岡本次長
こども課	本田課長、三代川課長補佐、並木室長、峯崎係長、山田、鈴木
保育幼稚園課	熊川課長、伊藤課長補佐
青少年課	高柳課長、岩井課長補佐、近藤副主幹
東野児童センター	河野所長
こども家庭支援センター	柳澤主査
こども発達センター	上林所長
企画政策課	高橋課長、楨室長

4 議事

- 1) 浦安市子ども・子育て支援総合計画「子ども・子育て支援関連事業」の27年度進捗状況について (資料3-1)
- 2) 幼児期の学校教育・保育等の確保方策について (資料3-2)
- 3) (仮称)まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について (資料3-3)
- 4) その他
  - ①報告事項：平成28年度少子化対策基金事業について (資料3-4)
  - ②平成28年度会議予定について

### 会議経過

#### 1. 開会

事務局： 本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。  
それでは、定刻になりましたので平成27年度第3回浦安市子ども・子育て会議を開催させていただきます。  
ここで、議事に入るまえに、皆さまにお伝えいたします。  
本日は、委員15名のうち13名の委員の出席がありました。浦安市子ども・子育て会議条例第5条第2項の規定により過半数を超える出席がありましたので、本日の会議が成立していることをご報告いたします。  
続いて、情報公開につきましてご案内いたします。

この会議は、浦安市情報公開条例第 23 条、浦安市附属機関等の会議の公開に関する取扱要綱第 7 条「会議の公開の方法等」により、公開を原則としており、手続きにより傍聴することができます。また、本日の議事録につきましても公表されます。公表までの手続きにつきましては、前回と同様になります。あらかじめご了承ください。

会議に先立ち、配布資料の確認をさせていただきたいと思います。先日発送しました資料が 3 種類、資料 3-1「浦安市子ども・子育て支援総合計画（第 6 章）掲載事業の進捗状況」と資料 3-2-1「浦安市まち・ひと・しごと創生総合戦略概要（素案）」、資料 3-2-2「浦安市まち・ひと・しごと創生総合戦略（体系図）」を事前に送付いたしました。

そのうちの「浦安市まち・ひと・しごと創生総合戦略」関連の資料番号の修正をお願いします。資料の 3-2-1 を 3-3-1 に、資料 3-2-2 を 3-3-2 に、右肩上の資料番号の修正をお願いします。

次に本日の机上配布した資料についてですが、会議次第 1 枚、追加資料として資料 3-2-1「幼児期の学校教育・保育の見込みと確保方策について」、資料 3-2-2「放課後児童健全育成事業について」、資料 3-3-3（企画追加資料）、資料 3-4-1「平成 28 年度少子化対策基金事業一覧」の 5 種類を新たに配布させていただいております。

資料の過不足がありましたら、事務局までお知らせください。

それでは、会議次第に沿い、議事に移りたいと思います。

ここからは浦安市子ども・子育て会議条例第 5 条により、以後は会長に進めていただきます。会長、よろしくお願いいたします。

## **2. 議事 1：浦安市子ども・子育て支援総合計画「子ども・子育て支援関連事業」の 27 年度進捗状況について**

会長： それでは早速、議事に入りたいと思います。全体で、おおむね 1 時間半の会議となります。

本日の議事は 3 つございます。ひとつずつ事務局及び担当課より説明をいただきまして、質疑応答の時間とさせていただきます。

議事 1 『浦安市子ども・子育て支援総合計画「子ども・子育て支援関連事業」の平成 27 年度進捗状況について』を事務局より説明をお願いします。

事務局： ～こども課 説明～

会長： 只今の事務局からの説明につきまして、ご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

委員： 評価欄のABCに関する質問です。これは誰が評価したのですか。

事務局： これは担当課が評価しています。なので、書いてある実施状況・評価・次年度以降の予定等も全て担当課で自己評価しています。

会長： 委員いかがですか。

委員： せっかくこの場に呼ばれていて、貴重な資料もいただいているので、何か意見をしたいのですが、どんな視点、どんな観点でしたら良いのか教えていただいてもよろしいでしょうか。

会長： 事務局の方からということでもよろしいでしょうか。

委員： はい。よろしくお願いします。

事務局： 薄緑部分が計画ということで、今後5年間で実施していく事業内容と目標になります。そして、それに対して27年度の実施状況と評価は、目標に向けて色々と担当課が実施していますので、その進捗状況をまとめています。その進捗についてご意見ですとか、こうした方がよいとかお聞かせいただけたらと思っております。

会長： 委員が「この評価は誰がしているのですか」とお尋ねになったこととも関連していると思うのですが、これは担当課の自己評価です。それに対して委員の皆様が「これはもう少し違うのではないか」など、どちらかという客観的な評価をいただくというのがひとつの目的かと思えます。

委員： よくわかりました。ありがとうございます。

委員： 2点ほどご質問させていただきます。まず、教育支援の拠点事業に関してですが、幼稚園・保育園の園庭解放・サロン・社協といったような色々な場所で行っているの、延べ人数にすると相当な人数が利用しており、当然重なっている利用者というのが多くいるはずだと思います。そこで、支援センターやサロン同士の横の連携というか横の繋がりとといったものがこの評価表からは伺いとれないのですが、その辺の状況を教えてくださいたいのが1点目です。

こどもの広場に関して今日は聞きたいと思ってきました。先日会議に参加して魅かれて、子どもを実際につれて遊びに行ってきました。それが1回と、平日の昼間はどうなっているのかと思い、拝見してきました。利用人数が最初のオープン時に確か何千人も来てあとは二百人ぐらいで推移しているということだったと思うのですが、行った時が寒い日曜日の午後で、ぱらぱらと家族がいて大人の人数の方が多いかなといった印

象でした。せっかく立派な施設があって、温水シャワーも配備していて、プレイリーダーも沢山いる中で本当に費用対効果の中で合っているのかわからないです。特に平日の午前中、私がかたま見た時がそうだったのかもしれませんが、子どもがいませんでした。そして、大人の見学者が10人くらいいて、スタッフが新しく羽子板のようなおもちゃを作ってプレーしていたといった状況でした。ちょっと見ると目の前に渋谷教育学園浦安幼稚園と高洲保育園があるのですね。狭い空間の中で3歳から5歳までが一緒になってぐちゃぐちゃと遊んでいるのを拝見しまして、この子どもたちがこの広場で遊べたらなんて素敵なのだろうと思って、ひとつの園の方に「なぜ行かないのですか」とお聞きしたのですが、中々手続等が煩雑で、事前に言うておくとか時間の関係とかもあって、ふっと思った時に行きづらいというようなことを伺いました。午前中の利用者が全くないといったような状況であれば、積極的に幼稚園や保育園の方に歩み寄って、というか誘いかけて、どんどん利用を促進するとか、そこで幼と保の子どもたちが共に遊ぶというような、そういったことを目的として何か企画するとか、そんなアクションができるのではないかと思いました。ものすごく立派な施設と優秀なスタッフがいるにも関わらず活用されていないという印象を受けたので非常にそこがもったいないと一市民として思いました。

会長： 今の委員からのご意見につきまして、説明をお願いしますか。

事務局： ご意見ありがとうございます。今のご質問なのですが、まず利用人数につきましては確かにご指摘の通り今大変寒い時期ですので、人数が低迷している状況です。ただ、日によって大分ばらつきがありまして、来ている時は来ていると、来ない時は全然来ない。こういったばらつきをなくすためにどうしたらよいか。今、団体利用に力を入れていまして、保育園や幼稚園の園長会議のとき、周知をはかったり、公園の実施事業として体験ツアーを組んだりといったような工夫をしているところです。また近隣の保育園、幼稚園についても手続が煩雑だのご意見をいただいたようなのですが、渋谷教育学園浦安幼稚園は毎朝朝一からご利用いただいております。今は手元に資料がありませんが、ひと月で延べ600人に利用いただいております。日によってばらつきがあるので、そのばらつきを解消するための工夫をしているところです。

委員： 実は1月にある園に伺って、あんなに隣は広く空いているのに、ここはこんなにぐちゃっと遊んでいるというような話からそういう話になりました。なので、延べで利用しているうんぬんではなくていかに気軽に利用できるかというアプローチが広場の方からできるというのが大事だと思ったのと、日中便を利用したっていうのもあったと思うんですが、バスに誰も乗ってなくて空回りしていると思いました。

事務局： 確かに手続が煩雑だというご意見に関しては真摯に受け止めたいと思います。その辺はきちんと説明をして利用がしやすいようにしたいと思っています。バスに関しては、利用

者が少ないイコール、バスの利用者も少ないのですが、なるべくバスを利用してもらうということで体験パークツアーを行ったり、今、試行錯誤しているところです。

会長：子育て広場に関してもご意見がありました。

委員：子育て広場がたくさんあるにも関わらず、連携は取れているのかという質問です。

会長：それは事業番号のいくつになりますか。

委員：関わっているのがいっぱいありまして、子育て支援拠点とか幼稚園の広場とか保育園の園庭解放だとかおそらく延べ人数で考えるといっぱい重なりがあると思います。

それは、ちょっと気になる保護者が色んな所で出現してジプシーみたいになっているのではと思うのですが、それについてはどうお考えですか。

事務局：子育て支援活動を主とした子育て広場の運営に関しては、こども課のみならず社会福祉課だったり保育幼稚園課であったり、それぞれの担当が使える場所を提供して運営する方を迎えています。例えばカウンセラーを置いていたり、年配の方、例えば支部社協の年配のおじいちゃんおばあちゃん世代の方が運営してくださるとか、運営形態の変わったサロンを市内の様々な場所でやっているところです。おっしゃるように、ジプシーという言い方が正しいかわかりませんが、そういう広場の利用を求めて実際に同じ方が色んな場所に行っているということもあるし、それはそれでとても良いことだという風に感じているところです。運営上で具体的な横の連携ということになりますと、例えば曜日が同じ曜日で開催して、それぞれを潰し合ったりしない様にするとかやっている内容が似通ったものはできるだけ違う内容を開催していこうというような、きちっと皆を集めて打ち合わせをするというようなことはできてはいません。ただ、情報交換的なことはできている中で行っているものですので、今後も行く先々で違う広場がいくつもあって、お母さんが色々な広場の特色を選びながら使っていくということでやっていきたいという風に考えています。

委員：中身の連携とかスタッフレベルの検討を広場同士で行なうことを公私 NPO 問わずに行っていくと、面で支えるということになっていくと思います。

事務局：地域子育て支援センターは市内に 8 か所ほどありまして、子育て支援センターを核として支援センターの集まりはありますが、その他の広場開催の担当課と密な連絡を今は取れていないので、先々はそういったことも含めて連携をしながらやっていきたいと考えています。

会長：ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

委員： 的外れな質問をしてしまうかもしれませんが、21 ページの事業番号 36 番の「ファミリー・サポート・センター事業の充実」についてです。評価はAになっていますが、まかせて会員さんのほうが少なく、おねがい会員さんのほうが現在多い状態で、「今後は会員の確保に引き続き務めるとともに登録会員の利用を促進する取り組みを行い、利用実績の増加を図ります。」となっていますが、具体的には、どのようにしてまかせて会員さんやどっちも会員さんを増やしていくのか、果たしてこれがAなのか疑問に感じています。

今年の4月に小学校に上がる子どもがいるのですが、私の仕事が朝8時半始業なので今現在は7時に保育園へ預けています。4月から小学校に上がると朝8時からでないといけないため、朝7時から8時までの1時間をファミリーサポートでカバーしようと思い、登録に伺いました。朝の利用の方はごくまれであり利用者が少ないので難しいといわれてしまい、どうしようと思ったのですが、利用するには一度登録のご家庭との面談が必要と言われたので、引越先が決まった後にどのような方がいらっしゃるのかご紹介いただきたいと言うと、利用の1週間前じゃないとご紹介する相手を探せないといわれてしまいました。私は一般家庭の方に預けるのでとても不安で利用ができていた中で、今回小学校にあがるのにどうしても利用せざるを得なくてお願いしようとしたのですが、このような冷たい言い方をされてしまいました。そういうこともあって、今後利用したいけど利用する気になれないでいるのに、こちらの評価としてはAなのだということとちょっと違和感を覚えてしまいました。その所を、どのようにお考えなのかご意見をお願いします。

事務局： こども課です。この度は不快な思いをさせてしまって申し訳ありませんでした。この評価というのは実際に依頼に対してどのくらい答えられたかという観点から行っています。基本的にはお断りした件数がほとんどないということで、Aという評価を付けさせていただきました。個々のマッチングにつきましても今おっしゃられたような話というのは、申し訳ありませんが今のところ私たちのところには届いておりませんでした。ただ、ご利用する側のお互いの都合を聞きながらマッチングをするというのが、第一的なやり方であるので、今回のことはファミサポの方には、申し入れをしたいと思います。また、言い方がとても冷たかったというようなこともあったようですので、それも含めて対応の仕方については申し入れをしていき、改善を努めます。朝、預かれる方が全くいないわけではないはずですし、それを探るのがアドバイザーの役割と捉えておりますので、「もういいや」と思わずに再度チャレンジしていただけたらと思います。あと、会員さんの拡大の仕方につきましては、今まで実際にファミサポを利用して、おねがい会員だった方が「今までお願いしていたから今度は切り替えてまかせて会員になる」という方をどんどん拾い上げていくことや、子育て・家族支援者養成講座で実際にお子さんを預かる目的で講座を受講してくださっている方がおります。講座は毎回5人10人と微々たる人数なのですが確実に増えていっている事実はあります。あと、会員数に関しては圧倒的におねがい会員が多いのですが、この仕組みとしては、まず登録してマッ

チングをしないとすぐに使えないということがあるので、利用者の方は使う使わないに限らず、保険をかける意味で登録をされているという方がいます。1700人の登録の中で実際のご利用は何割かとは今言えないですが、この方たちすべてが使っているわけではないのでまかせて会員さんが343人と少なく見えますけれど、今のところお断りする事例は少なくなっているところです。マッチングできない方は、ほとんどないと聞いていますので、懲りずにもう一度申し込んでいただいて、ぜひご利用していただけるようになると思います。よろしくお願いいたします。

委員： 利用する一週間前に事前に電話してマッチング、相手の方とお会いしてというのは、現実的に難しいのですが。

事務局： マッチングは一週間前という限定はしてないはずですが、それぞれの都合で合う日ということで設定していると思いますので、確認します。

委員： 依頼する日の一週間前に電話してくれと言われました。まだ依頼する日は決まってないのですが。

事務局： 先ほど説明したおねがい会員の会員数が多いというのは、事前に登録していつでも預けられる相手をマッチングして準備を整えるからです。おっしゃられた一週間前のマッチングについてはちょっと違和感がありますので、それも合わせて確認します。申し訳ありません。

会長： 他はいかがですか。

委員： ファミリー・サポート・センターの件ですが、私は浦安市から業務を受託している社会福祉協議会会長をしています。本当に今の話ドキッとしました。困っているときに安心して預けたいという思いで電話をされたと思います。今、手元に資料がないのでお答えすることができないのですが、先程のお話にもありましたけれども、一週間前というのがどういうことだったのかを私も確認いたします。

ファミリー・サポート・センターでは、お預かりする方も安心してお預かりしたいというのが一番大事なところですので、そのあたりの決まりは浦安市と協議しながら行っています。ですから、使いにくいということは全くないとは言えません。今のお話を伺いますと、利用しようと思ったら冷たい対応だったとのこと。受託の事業ですので、私もしっかり確認してこども課の方に伝えたいと思います。

きちんとお応えできるようにしますので、ぜひご利用していただきたいと思います。

委員： 4月から利用したいです。

委員： よく確認してご利用いただけるようにします。

会長： 他に何かございますか。

委員： 浦安市にはすこやか広場とって公立幼稚園に入園される前に利用できるにこにこランドと、わくわくランドというものがあります。その幼稚園に入らなくても、にこにこランドは保護者と一緒に利用できます。10ページの事業番号17番です。私もこども園に通う年中の娘が一人いるので、子どもたちを連れて元町から新町のすこやか広場をとっても楽しませていただきました。先生方が元々教員で様々な手遊びからおもちゃ遊びを園児さんたちに披露してくださいました。長女はもう小学校三年生なのですが、長女の時は大きい園に行くとホールにお母様と子どもが座れないくらい的人数がいました。しかし、今は近辺のお話を聞くと今日も1組、2組。私の在住である高洲もすこやか広場に参加されている方の人数が少なくなっています。

すこやか広場の先生方はとても優秀で本当に楽しい広場なので、もったいないと以前からずっと思っていました。一方で、近所ではとても人気のある民間の母子分離で預かる場があり、月謝をお支払して9時から2時までお預かりします。それは幼稚園とは別で、高額な月謝をお支払している母子分離の方がとても人気があります。ママ友たちにすこやか広場にぜひ来てねとよく言うのですが、「その日は母子分離の大事な1日なので」というお母さんが割といます。幼稚園のすこやか広場は無料で優秀な先生方いるにもかかわらず、民間の母子分離のサークルに高額をお支払してそちらに行かれる方がわりといらっしゃる。そのご家庭の色々なスタンスがあるのですが、母子分離が人気があるのであるならば、すこやか広場のにこにこランドやわくわくランドの形態を変えていくと、より人気が出るような気がします。例えば、保護者が一緒じゃないと今は参加できないのを、実際に30分でも1時間でも何々組の教室に入ってみましょうとか形態も少しずつ変えていったらいかがでしょうか。そうすることによって参加する保護者が増えてくるのではないかと思います。

会長： ご意見ということでよろしいでしょうか。他にありませんか。

委員： 今日は進捗状況を元に、いわばアウトプットの評価ということだと思います。そして、もうひとつ話に出ていたアウトカムの評価というのが、浦安の場合はどうやっていくかが大事になってくると思います。私に関わっている別のところではアウトプット評価をする時は、市に評価をする時に利用者の声をしっかりと聞いたうえでABC評価をしていくという方法を提案しています。全ては中々難しいけれども、例えば、産後ケアや子育てケアプラン、訪問支援などの利用後の声が直接届きにくいようなものや新規事業について、利用者の声をアンケートやヒアリングで押さえてから利用者のアウトプット評価をしていったらどうかということをお話しています。例えば利用者支援事業などはそういう形でやってもらえるよう提案をしました。今、話を伺っていると市だけの評価では

なくて、そこに利用者の声を入れたうえでやっていかなくてはいけないのではないかと感じましたので、少し工夫をいただけると嬉しいと思います。

会長： 大事なお指摘いただきましてありがとうございます。アウトプット評価とアウトカム評価の違いをちょっと説明いただいた方がよろしいかと思ひます。

委員： アウトプット評価は5年間でたてた事業目標をどれだけ進めていっているのかという進捗状況の評価です。アウトカム評価は、それによってどれだけ市民の子育てがしやすくなったのか、子どもが健やかに育つことになったのか、それを評価するものです。

通常どの市でも、浦安も中間評価の3年後とか、5年後のところではアウトカム評価をしたいと思いますけれども、今のような利用満足度がどのくらいなのかということ、例えば使いにくいという話があったとか、事業としてはよくやっているけど、非常に人が少ないし使いにくいし利用の仕方を変えた方がいいのではないかとといったような意見も利用者の方から広く吸い上げていって事業の改善に生かしていくこともアウトプットとアウトカムの中間形態のものとして考えられると思ひました。

会長： ありがとうございます。最終的にはアウトカム評価は取り入れる方向だと思ひます。ただ、今回は中間報告ですので、アウトプット評価をまず市で出し、それに基づいてみなさんからご意見をいただいている段階と思ひます。全ては出来ませんが、期末に重点項目に関してアウトカム評価を取り入れるということも、今後ご検討いただければと思ひます。

まだご意見あるかと思ひますが、次第が押しているので、よろしければここで次に移らせていただきたいと思います。

### **3. 議事2：幼児期の学校教育・保育等の確保方策について**

それでは、次に議事2.「幼児期の学校教育・保育等の確保方策について」保育幼稚園課・青少年課より説明お願いいたします。

事務局：資料3-2-1「幼児期の学校教育・保育の見込みと確保方策について」を説明します。

～保育幼稚園課 説明～

事務局：資料3-3-2「放課後児童健全育成事業について」を説明します。

～青少年課 説明～

会長： ただ今、事務局より議事2.「幼児期の学校教育・保育等の確保方策について」を説明いただきましたが、何かご質問等がありますか。

#### 4. 議事3：(仮称)まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

会長： それでは、ご意見・ご質問等ないようですので、続きまして、議事3.「(仮称)まち・ひと・しごと創生総合戦略策定について」の説明をよろしくお願いします。

企画政策課： 事前に送付した資料及び本日お配りした資料に基づき、説明いたします。

～企画政策課 説明～

会長： 「(仮称)まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について」を説明いただきましたが、何か質問等がありますか。

委員： 15 ページに、浦安市外への転出者のうち江戸川区や江東区に転出していった方が多いというデータがあります。交通利便性の高い地域に居住を求めて転出したということなのですが、浦安は立地から考えると、東西線や京葉線が通っていてむしろ通勤の面では都心への利便性が高いのではないかと思います。福祉職でみれば、賃金の問題で東京都のほうが高いとか色々な分析があると思ったのですが、これはあくまでも交通利便の高い地域に転出していくという理由なのかお尋ねします。それからもう一つ、住み替えですがよく若い方がおっしゃるには「浦安はとても魅力があって住みたいんだけど、やはり家賃が高い」という話をよく聞きます。若い世代への家賃補助などは、今の段階では考えていらっしゃらないということよろしいでしょうか。

企画政策課： 1 点目の交通利便性の考え方ですが、今回の調査以外にも色々なデータ等を使ってみないと詳細のところは判断が早いかなとは思いますが、概ねわかってきていることは、浦安は都心にお勤めになっている方の割合が非常に多いということです。そういう意味では職住近接といえますでしょうか、住まいと職場がより近い所を好む傾向にあるということがいえるかと思います。そのため、都心にお勤めの方はより勤め先に近い江東区などに行かれる方も多数いらっしゃるということをお伺いしておりますので、その辺で交通利便性という評価をさせていただきました。それと、二点目の家賃補助の関係ですが、特に現在のところは正直言って家賃補助というのは考えておりません。一部すでに高齢者政策の中では、家賃補助ではないのですが住宅に対する支援措置は行っておりますし、それから来年度以降に住宅基本計画の見直しが予定されております。住宅基本計画では、住宅や住まいのあり方等々について、政策を計画的にまとめている段階ですので、計画の見直しの中でも関係課が連携をして、今の時代に合った計画に変えていくものという風に考えております。その中で色々な議論を積み重ねていくものというところで、この戦略の中では住宅基本計画の策定について事業立てさせていただいております。

委員：計画の中で特に高齢者の補助というものはあるかもしれませんが、若い世代が住みやすい住宅政策ということも考えていただければと思います。以上です。

会長：今の委員のご指摘に対して改めて考えてみますと、交通の利便性が原因だというのは推測かと思われます。転出入の原因に関して、もう少し他にも考えられるエビデンスがあるかも知れませんね。以前、テレビで江戸川区に若い世代が移っていると報道されていて、漠然とした記憶ですが、必ずしも交通の利便性だけではなかった、そんな記憶があります。浦安から転出されるということは、人口減少に関して重要な問題だということがずっと書かれていますので、できればもう少しエビデンスに基づいた分析なども今後お願いできたらと思います。他はいかがでしょうか。

委員：12ページの子どもが持てない理由の上位で「子育てや教育にお金がかかりすぎる」というのが52.2パーセントと半分ということで、私も娘を2人育てていてお金がかかりますけれど、本当に半分というこの数字に大変驚いております。例えば、これから子どもを作ろうと思っているご家庭が、公立の幼稚園から公立の高校まで進学するとどのくらいかかるかというような、はっきりとした金額というのが目に見えると、これなら私たちでもやっていけると一歩踏みこめるところがあると思います。そうした場合に、市のホームページとかすごく素晴らしいものがあるので、その中に家庭のシミュレーションのようなものができるといいと思います。例えば、両親がいて子ども一人公立幼稚園、公立高校そして私立の大学に行った場合どれくらいの費用がかかるのかを金額で目に見ることによって、漠然とお金がかかりすぎるという回答が少し修復できるような方向に進むのではと思っています。浦安市は公民館でファイナンシャルプランナーの講座とか優秀な先生の講座も無料で受けることができます。一人のお子さんを育てるにはこれくらいかかるというのが講座を受けることでわかります。調べていただくとわかるのですが、とても人気で抽選になるくらいの講座です。そういった金額が目に見えることによって当初申し上げた数字も落ちるのではないかと個人的には思います。

会長：ありがとうございます。他はよろしいですか。

## 5. 議事4：その他

会長：それでは最後になりますが「議事4. その他」についてお願いします。

事務局：その他は2点ございます。

まず、報告事項としまして資料3-4「平成28年度少子化対策基金事業一覧」についてです。28年度予算の内示があり、全19事業が少子化対策基金事業の対象となりました。新規事業としては保健体育安全課の「第3子以降学校給食費減免事業」になります。この事業は新たに多子世帯への経済的支援として4月より開始する予定で準備を進めてい

ます。また、事業の拡充では、「こどもプロジェクト事業」の中で、新庁舎の開設に伴い、現在健康センターと第3庁舎に分かれている「子育てケアプラン」を作成する部屋を健康センターに集約し、子育て世代包括支援センター（こどもネウボラ）の開設を予定しています。進捗につきましては、新年度開けての1回目の会議で具体的にお話しができると思います。

続きまして平成28年度の子ども・子育て会議の開催予定についてです。

27年度と同様に定例会2回、臨時会1回の計3回の会議開催を予定しております。時期は、27年度事業実績がまとまったのち7月頃と、今頃に定例会を開催したいと考えております。また、新規認可保育施設の開設状況に応じて臨時会を開催する予定であります。第1回は7月29日（金）同時刻を予定しております。詳細が決まり次第、文書でお知らせいたしますが、予定に入れておいてください。

会長： 何かご意見はございますか。

～意見聴取～

以上を持ちまして、本日の会議につきましてはこれで終了させていただきます。